



アイリスちくさ内山 便り

平成31年
2月発行

2月
です。



毎年、この時期はインフルエンザ感染で話題が持ちきりですが、今年は特に時期が早く、爆発的に感染が広まり、ここ愛知県は全国でも圧倒的な感染患者数ということで、連日、テレビで報道されておりました。

また、学級閉鎖となるクラス数も多く、突然の休みに親御さんやそのご家族も会社を休んだりと様々な調整で慌ただしい日々を過ごされています。まだまだ乾燥が続く季節ですので、人混みはマスクの着用、そして手洗いをするなど予防は引き続き必要です。

予想以上に多い手を介しての感染

インフルエンザを発症している人が、自分の口や鼻に触れると、その手にウイルスがつきます。そして、ウイルスのついた手で、ドアノブ・手すりなどの様々な場所に触れると、環境が汚染されてしまいます。さらに、その場所に触れた別の人が、手で口や鼻に触れるということによって、感染は人から人へ広がっていきます。

「感染した人の口や鼻→手→環境→他の人の手→口や鼻」・・・このような手を介しての感染は、予想以上に多く起こっています。

だから「手洗い」は大切な予防策のひとつなのです。



元日



日泰寺、三喜神社へ初詣



ナースケアホームアイリスちくさ内山(看護小規模多機能型居宅介護)
〒464-0075 名古屋市千種区内山二丁目13番16号
電話番号:052-741-7857 / FAX:052-741-7858